

## 警察署協議会議事録

協議会名	令和7年第2回宮城県気仙沼警察署協議会
開催日時	令和7年11月21日（金） 午後1時00分から 午後2時30分まで
開催場所	宮城県気仙沼警察署大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席委員～ 熊谷敬一郎会長 川村律子副会長、菅原生子委員 佐藤梨華委員、渡邊耕司委員</li> <li>・ 欠席委員～ 菅原敬子委員</li> </ul> <p>2 警察署側</p> <p>署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長 刑事課長、交通課長、交通課課長代理、警備係長</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

## 別紙

### 1 報告事項

#### (1) 管内の治安情勢等について

署長から、令和7年中における刑法犯の認知件数と交通事故発生状況等の治安情勢について、説明がなされた。

#### (2) 特殊詐欺の現状と対策について

署長から、令和7年中における特殊詐欺の現状と対策状況について、説明がなされた。

### 2 協議事項

#### (1) 宮城県速度管理指針の案の説明について

交通課長から、宮城県警察速度取締り指針について説明がなされた。

#### (2) 令和7年度下半期の速度取締り指針の策定について

交通課長から、令和7年度下半期の速度取締指針の策定について説明がなされた。

#### (3) 違法駐車取締り活動方針について

交通課長から、違法駐車取締り活動方針について説明がなされた。

### 3 意見要望

#### (1) 交通標識・道路表示について

##### 【委員】

先日、気仙沼中央インターの入口で、バックで戻っていった車を目撃した。

大型店舗がオープンしたり、暗くなってくるとわかりづらいのではないか。

##### 【交通課長】

カラー舗装などの対策は講じているが、交通量が多い場所は塗装が剥がれる現状もあるため、道路管理者と連携をとりながら、カラーの塗り直しや新しい逆走防止の措置を検討していきたい。

#### (2) 聴覚障害者に対する交通上の注意喚起方法について

##### 【委員】

高齢者と聴覚障害のマークをつけた車を目撃したが、例えばその車に対して何かを知らせたい場合、パッシングなどのクラクション以外で知らせる方法はあるか。

##### 【交通課長】

クラクションを第一に行い、さらに聴覚障害の標章があるのであれば、パッシングも一つ有効な手段となる。

(3) 熊の出没に関する注意事項等について

【委員】

全国で熊の出没が相次いでいるが、警察ではどのような対策を行っているか。

【生活安全課長】

気仙沼市農林課が主管となるが、警察は市民の皆様の命と財産を守るために、今までに熊がいる場合は、警察で警戒や安全確保など様々な対応をしている。

熊の対策については、まず、熊を寄せ付けないこと。

熊が食べ物を探して近づいてくることを防がなければならない。

例えば、生ごみを前日から屋外に出したりせず、庭や畠にある柿、栗などの実は落とすこと、不要であれば木を切ること。

なお、個人で木を伐採することは難しいため、市に窓口があるので相談して欲しい。

【委員】

区の自治会長を務めており、熊が出ると電話連絡で伝達していた。

防災無線について、市政懇談会の場で、今はもうデジタル社会で多くの人がスマートフォンを持っているので、ネット上に流れる情報で把握して欲しいと言われたが、お年寄りが多い地区のため、防災無線で広報して欲しいと話したところ、防災無線で放送されるようになった。

現状、熊にはどこの地区も悩まされている。

【生活安全課長】

警察としては、熊の目撃が寄せられた場合に、報道機関と市にお知らせしているが、防災無線を放送するか否かは市の判断となってしまう。

市からは、今後、熊の対策を強化して考えていくとの話は伺っている。

なお、国の方針として、警察官がライフル銃で熊を駆除するという対策方法が話題となっているが、現状で宮城県警察には、熊の狩猟免許を保有している警察官がいないため、すぐに対応することは難しい状況である。

(4) 自動車専用道路への歩行者流入事案について

【委員】

先日、徒步で三陸自動車道に入ろうとした方を目撃したため慌てて停止させたが、「俺は何も悪いことしてない」と制止を聞かずに行ってしまい、結局、包括センターに連絡して来てもらい対応した。

【署長】

事故防止のために御対応いただき感謝する。

今後、そのような場面に出くわした際には、すぐに110番通報をしていただきたい。

(5) 災害発生時の交通規制等について

【委員】

市の防災委員を務めているが、本年7月にカムチャツカ半島沖で起きた地震

で津波警報が出た際、開催が直近に迫っていたみなと祭りの準備のため、本来、陸こうの内側から外側に出るために作られた道路を逆走して、陸こうの内側に入っていく車をたくさん目撃した。

陸こうの外側に出るための道路という認識が薄く、緊急時に通行方法が分からずに入ってしまい、出会い頭の事故が起きて道路が使えなくなつて大渋滞を引き起こすという危険性があると思われるので、警察から一方通行であることを周知してもらえるのか、それとも市にも言うべきか。

**【署長】**

津波注意報等が発令されれば警察で誘導を行うことは可能だが、警報となると車両を捨てても逃げるべきであるため、長時間にわたつて誘導を行い続けることが難しい。

防災関係については、県と市の両方で持つてゐる。

ぜひ、委員から市に対しても働きかけを行つて欲しい。

(6) マイナンバーカード一体型免許証の普及状況について

**【委員】**

今年3月から、マイナンバーカード一体型免許証の運用が始まったが、免許を更新される方のうち、どれぐらいの方がマイナ免許証にしているのか。

**【交通課長・課長代理】**

交通課長及び課長代理から、マイナンバーカード一体型免許証の取得割合について説明がなされた。

4 事務連絡

次回協議会の開催予定について

**【警務課長】**

次回の警察署協議会については、令和8年2月頃を予定している。

後日、詳細について連絡をする。